

氏名	新井 恵	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	口腔保健学				
学位	博士(口腔保健福祉学)				
学歴	1994年3月埼玉県立衛生短期大学歯科衛生学科(現埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻)、2004年3月放送大学教養学部、2009年3月筑波大学大学院教育研究科カウンセリング専攻リハビリテーションコース、2019年3月新潟大学医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻				
経歴	2000年埼玉県立大学短期大学部歯科衛生学科(現埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻)助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻助教、2013年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻講師、2018年埼玉県立保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻准教授				
所属学会(役職)	日本歯科衛生学会、日本歯科衛生教育学会、日本口腔衛生学会、日本公衆性衛生学会、新潟歯学会、日本歯科医学教育学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	歯科衛生学生におけるがん患者のEnd-of-Life Care教育の効果と課題	共著	日本歯科衛生教育学会雑誌; 9(1); P.25-30	平野裕子、 新井 恵 、秋山恭子	2018.05
2	短期大学・大学における歯科衛生過程の取り組みと教員による授業評価	共著	全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌; 2019(8); P.19-24	野口有紀、 新井 恵 、鈴木恵子、足立了平	2019.3
3	埼玉県立大学における歯科衛生課程の取り組みについて	単著	全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌; 2019(8); P.43-44	新井 恵	2019.3
4	保育園児の家庭での歯磨き状況と保護者の意識調査	単著	保健医療福祉科学; 8; P.48-52	新井 恵	2019.3
(3) 学会発表					
1	専門職連携実践実習後の歯科衛生学生による振り返り学習の評価	共著	日本日本歯科衛生学会雑誌, 13(1), p98	○秋山恭子, 新井 恵 , 木下淳博	2018.9
2	歯科衛生士教育におけるiPadアプリケーション教材の開発に向けた予備調査	共著	歯科衛生教育学会雑誌; 9巻2号 P137	○ 新井 恵 、秋山恭子	2018.10
3	多職種連携教育に関する学生レポートのSCATによる分析—多職種連携における歯科衛生士の役割を考える—	共著	平成30年度埼玉県歯科医学大会	○秋山恭子、 新井 恵 、吉田隆	2019.2
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	歯科衛生士教育におけるiPadアプリケーションの開発と教育効果に関する研究			2018.4~2021.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	口腔保健科学概論	2018.7.4	科目担当者として、歯科検診を通して歯科を受診する患者の気持ちを知り、歯科衛生士の役割について理解できるよう授業を行った。		
2	口腔疾患予防学	2018.10~2018.12	科目責任者として、科学的根拠に基づき個人または集団を対象としたヘルスプロモーションの実践ができるよう授業を行った。		
3	ヒューマンケア論	2018.7	「私のヒューマンケア」のテーマのパネルディスカッションに登壇した。歯科衛生士の業務や多職種連携について発言をした。		

(2) 演習			
1	歯周病予防処置法Ⅰ	2018.4～2018.8	科目責任者として、ファントム模型上での歯周病予防処置法の実習を通し、専門的知識の習得と関連する技術を修得できるよう授業を行った。
2	歯周病予防処置法Ⅱ	2018.10～2019.2	科目責任者として、歯周病予防処置法Ⅰで修得した知識および技術を基盤に、学生相互実習を通して歯周病予防処置に関する能力を深められるよう指導を行った。
3	歯周病予防処置法Ⅲ	2018.5～2018.8	科目責任者として身近な模擬患者を対象としたスケーリング等の歯周病予防処置を実施し、様々な年齢の口腔内を観察して、歯周病予防処置法の知識と技術を総合的に実践できるよう授業を行った。
4	齲蝕予防処置法	2018.10～2019.2	科目責任者として、齲蝕の成り立ちや予防方法、検査法の講義と、フッ化物歯面塗布法、小窩裂溝填塞法の実習を行い、総合的に理解できるよう努めた。
5	口腔保健科学実践特論	2018.10～2019.2	科目責任者として、歯科衛生実践能力として4年間学んできた知識・技術・態度を再確認し、対象者に応じた歯科衛生業務を行う能力を養ため、事例検討やグループワークを取り入れた授業を行った。
6	ヒューマンケア体験実習	2018.7～2018.9	科目担当者として、保健・医療・福祉の実践現場での実習で、援助を必要とする人々・保健医療福祉に携わる人々・グループメンバーなどの連携が円滑に行えるよう指導した。
7	卒業研究	2018.4～2019.1	科目担当者として、口腔保健科学専攻4名の卒業研究を指導した。
(3) 実習			
1	臨地・臨床実習Ⅰ	2018.10～2018.1	科目担当者として、臨地臨床・実習のオリエンテーションで実習前指導を行った。
2	臨地・臨床実習Ⅱ	2018.10～2018.1	科目担当者として、歯科大学病院実習のカンファレンスで実習指導を行った。
3	臨地・臨床実習Ⅲ	2018.4～2018.7	科目担当者として医学部付属病院等のカンファレンスで実習指導を行った。
4	臨地・臨床実習Ⅳ	2018.4～2018.7	科目担当者として臨地・臨床実習のカンファレンスで実習指導を行った。
(4) 論文指導			
1	学部卒業論文	2018.4～2019.1	口腔保健科学専攻4年生4名と担当し、口腔保健に関する研究指導を行った。ゼミ形式で指導を行い、学生間でも学びを共有できるよう配慮した。
(5) その他			
1	学生アドバイザー	2018.4～2019.3	口腔保健科学専攻1年次から4年次までの混合編成アドバイザーグループの担当として、学生指導を行った。
2	非常勤講師担当科目の教育支援	2018.4～2019.3	非常勤講師が科目責任者である口腔保健科学専攻専門科目2科目について、科目の学内担当として連絡調整をして学生が学びやすい環境を整えた。
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	該当なし		
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	全国大学歯科衛生士教育協議会	理事	2015.4～現在
2	全国大学歯科衛生士教育協議会 教育・研究委員会	委員	2015.4～現在
3	全国大学歯科衛生士教育協議会 教育・研究委員会	副委員長	2015.4～2018.3
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	学生支援委員会委員		
2	就職対策部会委員		

6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		